桑野獅子舞【くわのししまい】

開催場所　嘉麻市桑野
神有（上の宮）高木神社
普門寺（下の宮）高木神社

開催日　1 月 1 日
4 月の第 2 日曜日で 10 日に近い日
（1 月は正月の神事として奉納、4 月は神幸祭）

【芸能の概要】

桑野獅子舞は、桑野地区の神有（上の宮）と普門寺（下の宮）の両高木神社において、新年の神事及び神幸祭に奉納される舞である。

新年の神事の獅子舞は、下の宮、上の宮の神社でそれぞれ雄・雌一対となって舞う。

舞は、子供獅子舞に続き大人獅子舞が舞うことになっているが、流動的で一方が中止されることもある。なお、神社での奉納の後、遠賀川源流で舞われる年もある。

4 月の神幸祭には、両高木神社でそれぞれ獅子舞を舞った後、地区の中心部である公民館で合流し雄・雌二対（4 頭）が一緒になって舞う。

【芸能の特徴】

桑野獅子舞がどこから伝承されてきたのかについては、地区の獅子舞について、研究されている古老にお訪ねしたが、「はっきりしたことは判らない。大分の獅子舞の系統ではないかと、前に獅子組で大分獅子舞を視察にいったが、舞い方、お囃子の様子が桑野獅子舞とは違っており、大分の獅子舞の系統とは考えられない」という話であった。

また、「土師の獅子舞の系統とも違います」いう話で、由来についてははっきりしない。

上の宮の高木神社に保存されている最も古い獅子頭は、約 250 年位前の物といわれている（獅子頭が保存されていた箱に宝暦 9 年（1759）獅子頭 1 対奉納との裏書きあり）。

桑野獅子舞の舞には、曲、戸渡し、神楽、納め、入葉、タイラクの 6 種類あったといわれているが、現在伝承されているのは、曲、戸渡し、神楽、納めの 4 種類である。

・アクセス

嘉穂町役場から、211 号線を南へ下り約 5km、桑野地区へ入りすぐ。
211 号線を挟んで両神社間の距離は約 1.3km

・周辺の観光

益富城自然公園、古処山キャンプ村、
馬見山キャンプ村「遊人の杜」、嘉穂町総合運動公園
遠賀川源流の若水取り（1 月）、
九州りんご村花まつり（4 月）、
ふれあいまつり嘉穂（11 月）、
嘉穂リバーサイドロードレース（11 月）

・近くの特産品

米・リンゴ・花・生乳・梨・野菜・酒・鶏卵